

| ●入試名称 大 学 (問合せ・要項請求先) | 学部・学科 (専攻・コース) | 募集人員 | 出 願 資 格 | | | | 特定条件・求める学生像等 | 選 考 方 法 | 2012年度入試日程 | | | | | 備 考 | 2011年度入試結果 | | | | |
|---|---------------------------|------------------|---------|------|------|--------|--|--|--|----------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|-------------|-------|------------------|---|---|-------------------|-------------------|
| | | | 出願時区分 | 現浪区分 | 成績基準 | 取活得実資格 | | | 面接(実施形態・主要試験事項) ・小論文(字数・時間)・その他 *提出書類(志願票以外) | 工 期 前 面 接 間 | 体 験 授 業 前 面 接 | 出 願 期 間 | 試 験 日 | | 合 格 発 表 | 締 切 手 続 日 | 合 否 判 定 評 価 法、 人 物 評 価 重 点 項 目、 地 方 会 場、 そ の 他 | 出 願 者 数 | 合 格 者 数 |
| ●AO入試 日本福祉大学 ★入学広報課 ☎(0569)87-2212 〒470-3295 愛知県知 多郡美浜町奥田 要項：千共無料 | 社会福祉－社会福祉 | Ⓐ60 Ⓑ25 Ⓒ5 | 専 | 現 | 3.2 | △ | 次のいずれか。(1)本学部の教育目標を理解し、社会の仕組みや人間の在り方に深い意味・関心を持つ者、(2)自ら課題の発見・解決に取り組む意欲のある者、(3)ボランティア・文化活動等の体験・実績などから培った人間性や協調性を発展させて学習・実践する意欲のある者 | 前期・中期＝1次→書類審査、2次→面接(面接官2名、個別、約20分) 後期＝書類審査・講義等(90分)・レポート作成(60分)・面接(面接官2名、個別、約20分) (書類)志願者アンケート回答用紙、課題レポート(前期・中期)、自己アピール書、調査書 | － | (注) | Ⓐ8.31 Ⓑ9.7 | <1次> － <2次> 9.25 (予備24日) | 9.14 | 9.28 | 10.6 | 自己アピール書・課題レポート100点、面接100点 (人物)① (注)全学部とも「求める学生像」の詳細は要項で確認のこと (注)出願までに必ず1回は本学教職員との面談(面接官1名、個別、約20分)が必要。AOガイダンス、オープンキャンパス、進学相談会等で実施 (注)2011入試結果の出願者数は第4志望まで含む (注)リハビリテーション学科作業療法学専攻は前期のみ実施 | Ⓐ115 Ⓑ18 Ⓒ3 | 100 15 3 | 1.2 1.2 1.0 |
| | 経済－経済 | Ⓐ30 Ⓑ10 Ⓒ軒 | 専 | 現 | 3.0 | △ | 次のいずれか。(1)現代の社会問題について考えたい者、(2)本学の「地域活性化への貢献」等の社会参画プログラムに積極的な参加を希望する者、(3)ビジネスや医療・福祉において新たなアイデアや企画を提起して挑戦する者、(4)諸活動の実績や取得資格があり、入学後も積極的に活躍する意欲のある者、(5)入学後もボランティア活動などに積極的に取り組む意欲のある者 | (試問) A ④⑤、 B ②③⑥ <自己アピール書・課題レポート>、 C ⑤、 D ①②③④ | － | (注) | Ⓐ9.27 Ⓑ10.4 | <1次> － <2次> 10.23 | 10.12 | 10.26 | 11.4 | Ⓐ10 Ⓑ3 Ⓒ2 | 10 3 1 | 1.0 1.0 2.0 | |
| | 健康科学－リハビリテーション <作業療法学> | Ⓐ軒 | 専 | 現 | 3.8 | × | 次のいずれか。(1)リハビリテーション医療の専門職として医師や他の専門職と連携しつつ、作業療法の利点を伝えられる者、(2)対象者の身体的・精神的・社会的側面に対し様々な援助が与えられる者、(3)作業療法学に対して、常に向上心と研究心を持ち、質の高い技術が提供できるように努力できる者 | | － | (注) | Ⓒ11.1 Ⓑ11.8 | 11.13 | 11.16 | 11.24 | | | | (新規実施) | |

| ●入試名称 大 学 (問合せ・要項請求先) | 学部・学科 (専攻・コース) | 募集人員 | 出 願 資 格 | | | | 特定条件・求める学生像等 | 選 考 方 法 | 2012年度入試日程 | | | | | 備 考 | 2011年度入試結果 | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|-------------------|---------|------|------|-------|---|---|--|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------------|-------------|-------|------------------|---|---|-------------------|-------------------|
| | | | 出願時区分 | 現浪区分 | 成績基準 | 取得動資格 | | | 面接(実施形態・主要試験事項) ・小論文(字数・時間)・その他 *提出書類(志願票以外) | 工 期 予 り 間 | 体 験 授 業 前 面 接 | 出 願 期 間 | 試 験 日 | | 合 格 発 表 | 締 切 手 続 日 | 合 否 判 定 評 価 法、 人 物 評 価 重 点 項 目、 地 方 会 場、 そ の 他 | 出 願 者 数 | 合 格 者 数 |
| ●AO入試 日本福祉大学 (続) | 健康科学-リハビリテーション 〈介護学〉 | 前10 中10 後10 | 専 | 現 | 3.2 | △ | 次のいずれか。(1)介護福祉士・社会福祉士の両資格を目指す者、(2)介護・福祉について、幅広い知識と技術を身につけたい者、(3)リハビリテーションチームの一員として働きたい者、(4)これまでの地域活動を通じて介護・福祉の分野で働きたい者 | 前期・中期=1次→書類審査、2次→面接(面接官2名、個別、約20分) 後期=書類審査・講義等(90分)・レポート作成(60分)・面接(面接官2名、個別、約20分) (書類)志願者アンケート回答用紙、課題レポート(前期・中期)、自己アピール書、調査書 (試問) A ④⑤、 B ②③⑥ 〈自己アピール書・課題レポート〉、 C ⑤、 D ①②③④ | - | (注) | 前8.31 9.7 | <1次> - <2次> 9.25 (予備24日) | 9.14 | 9.28 | 10.6 | 自己アピール書・課題レポート100点、面接100点 (人物)① (注)全学部とも「求める学生像」の詳細は要項で確認のこと (注)出願までに必ず1回は本学教職員との面談(面接官1名、個別、約20分)が必要。AOガイダンス、オープンキャンパス、進学相談会等で実施 (注)2011入試結果の出願者数は第4志望まで含む (注)子ども発達学科は前期・中期のみ実施 | 前11 中1 後2 | 11 1 2 | 1.0 1.0 1.0 |
| | -福祉工 〈健康情報〉 | 前10 中10 後10 | 専 | 現 | 3.0 | × | 健康に役立つ新しい福祉のものづくりや情報システムづくりに興味のある者など | | | | | | | | | 前2 中1 後0 | 1 1 - | 2.0 1.0 - | |
| | 〈リハビリテーション〉 | 前15 中10 後10 | | | | | 福祉や環境共生を考慮した住環境・地域環境の創造に興味がある者など | | | | | | | | | 前6 中1 後0 | 6 1 - | 1.0 1.0 - | |
| | 子ども発達 -子ども発達〈保育〉 〈初等教育〉 | 前18 中10 後7 | 専 | 現 | 3.2 | △ | 次のいずれか。(1)各学科の教育目標を理解し、人間や社会に強い関心を持つ者、(2)自ら課題の発見・解決に取り組む意欲のある者、(3)ボランティア・文化芸術活動などの実績があり、人と関わることに積極的(前向き)な者 | | - | (注) | 前9.27 10.4 | <1次> - <2次> 10.23 | 10.12 | 10.26 | 11.4 | | 前39 中7 後18 | 26 4 13 | 1.5 1.8 1.4 |
| | -心理臨床 | 前15 中5 後10 | | | | | | | | | | | | | | | 前26 中5 後1 | 21 4 0 | 1.2 1.3 - |
| | 国際福祉開発 -国際福祉開発 | 前17 中10 後10 | 専 | 現 | 3.0 | △ | (1)高度な英語力を獲得して、ビジネスや開発援助などの領域で、自ら情報発信して活躍する意欲を持つ者、(2)国際貢献・NPO・NGOなどに関する本学部のプログラムに積極的に参加できる者、(3)環境などの地球的課題に取り組む意欲のある者、(4)実践的な授業を自らデザインできる英語教員を目指す者、(5)本学部の諸活動でリーダーとして活躍する意欲と自信のある者 | | - | (注) | 後11.1 11.8 | 11.13 | 11.16 | 11.24 | | 前13 中1 後2 | 10 1 2 | 1.3 1.0 1.0 | |